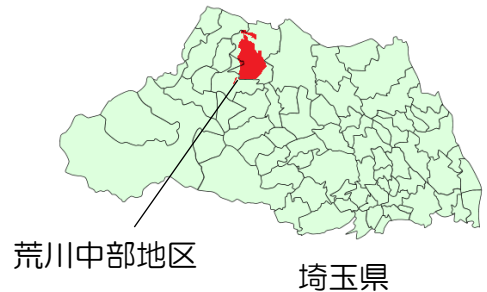


国営かんがい排水事業「荒川中部地区」の取組

国営荒川中部地区（埼玉県）では、国営事業による農業水利施設の改修等と併せて、関連事業において用水路の改修と畑地かんがい施設の整備を進めています。このような中、かんがい施設が未整備の畑においては、天水に依存した農業経営を余儀なくされています。今回は、営農推進に向けた地区営農推進組織の取組を紹介します。

◇ 事業の概要

事業種：国営かんがい排水事業
場 所：埼玉県本庄市、深谷市、寄居町
受益面積：3,212ha（水田、普通畑）
事業期間：H26年度～R8年度
主要工事：頭首工、揚水機場、用水路等の改修



荒川中部地区農業農村整備事業推進協議会（営農検討部会） ～営農推進に係る講演会及び現地視察～

荒川中部地区では、地区営農検討部会が中心となって毎年、営農推進に係る講演会等を実施しています。

本年度は令和7年11月18日（火）に、推進協議会（営農検討部会）の主催で講演会および現地視察等を実施し、関係機関（県、市町、事業所など）をはじめ、JAや農家代表など30名以上が出席しました。

はじめに、営農検討部会の部会長である深谷市の農業振興課長から挨拶をいただき、続いて「完全有機・完全生分解性を有する超吸水性ポリマー」の開発者であるEFpolymer（株）を講師として招き、肥料の利用量削減や収量の増加に効果のある商品（EFポリマー）を紹介、併せて実証試験の成果を説明していただくなどの講演会を開催しました。

また、荒川中部地区では来年度、上大谷地区および榛沢新田地区において基盤整備事業を着工予定であることから、埼玉県大里農林振興センターより事業概要について説明を行い、上大谷揚水機場の現地視察を実施しました。



営農検討部会講演会



上大谷揚水機場視察